

令和５年度（２０２３年度）第４回東海市地域公共交通会議会議録

○会議の名称 令和５年度（２０２３年度）第４回東海市地域公共交通会議

○開催日時 令和５年（２０２３年）１２月２１日（木）

午後１時１０分から午後３時０５分まで

○開催場所 東海市役所３０２会議室（３階）

○出席委員 星川功（会長）、齋藤誠（副会長）、嶋田喜昭（議長）、
金森隆浩、花村元気、天野朝之、小林裕之、藤田和弘、小島浩資、
湯浅一成、村瀬謙治、片桐眞砂子、中西規功、大里美栄子、
安田譲、秋山和子、中村和彦、坂野正信、久野勲、宮川高彰、
桑山忍、大西彰

○欠席委員 水田昌孝、平岡友幸、石屋義道

○事務局 総務部長、危機管理監、交通防犯課長、同統括主任、同主任２人、
同主事

○オブザーバー 委託事業者２人、株式会社アイシン

○傍聴者の数 ５人

○議題及び審議の概要

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

（会長）

本日の会議では、デマンド交通の実証実験の概要や次期ダイヤ再編に向けた新たなルート編成に伴うダイヤ案等を協議いただき、市内の公共交通をより良いものにしていくために、建設的な意見を頂戴したい。

3. 報告事項

（1）前回の会議録の確認について

事務局による資料１の説明

（2）循環バスの利用状況等について

事務局による資料２の説明

（議長）コロナ禍以降、順調に回復しており、年間利用者が３２～３３万人ほど見込めそうである。

(3) 東海市地域公共交通網形成計画の推進について

事務局による資料3の説明

(議長) らんらんバスロケーションシステムの使い方の講習会に参加した方の内、バスの利用者以外の高齢者も参加しているのか。

(事務局) バスを利用したことのない方も、一定数見られる。

(4) 令和5年度補助系統別事業評価票について(横須賀(A)線)

(あいあいバス北部循環コース線)

事務局による資料4、5の説明

中部運輸局愛知運輸支局による補足説明

(5) 東海市地域公共交通計画(素案)に関するパブリックコメント実施結果について

事務局による資料6の説明

(委員) 30分に1本にしてほしいという意見に対しての回答として、もう少し詳しく回答すべきとを感じるがどうか。

(事務局) 修正させていただく。

4. 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業にかかる事業評価について

事務局による資料7の説明

中部運輸局愛知運輸支局による補足説明

(会長) 令和9年のリニア中央新幹線の開通という文言に、違和感があるため、整合性を取り修正すること。

(事務局) 修正させていただく。

(議長) 提出期限はいつごろか。

(委員) 中部運輸支局に1月19日まで。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(2) デマンド交通実証実験の概要について

事務局による資料8-1～資料8-4の説明

(委員) 予約受付は、当日はできないのか。

また、会員対象者について18歳以上のペーパードライバー及び18歳以上の障がい者は対象外か

(事務局) 当日の予約受付は、可能ではあるが、先に予約した方が優先となり、希望の時間に添えないケースも考えられる。

また、会員対象者については、今回の実証実験の段階では、提案した3つの条件のいずれかに合致する方を対象として、実証実験を始めていく。その中で対象エリアにお住まいの方から、要望が出るようであれば、実証実験中または本格運行の際に、条件変更について、公共交通会議の中で提案し、変更していくことは可能である。利用者の方々が使いやすいデザインを目指していく。

(委員) 対象エリアについて、北エリアと南エリアで比較しているが、市中央エリアについても高齢化が進んでいるため、今後検討して欲しい。

(事務局) 今回の実証実験では、北エリアを設定しているが、デマンド交通は、地域によってフィットする、しないがあり、市中央エリアでは他の異なる輸送方法があることから、今後地域のニーズ等を反映しながら、デマンド交通に限らず、様々な公共交通輸送サービスの充実を継続・検討していく。

(会長) 利用方法として、基本的には行き帰りの往復で事前予約をすることを考えるが、帰りの時間に間に合わない場合はどうなるのか。

(事務局) 当日コールセンターに連絡し、他の利用者の予約時間に影響を及ぼさない程度であれば、変更は可能ではある。影響が及ぶのであれば、別の公共交通機関等を利用してもらう必要がある。

(委員) 住宅地停留所を57箇所より増やしてもよいのではないか

(事務局) 住宅地停留所の57箇所は、大まかな数であり、基本的には公民館や公園、ゴミステーション等を停留所の候補地にしながら、今後も町内会や地元の意見も参考に停留所の設定をしていく。

(委員) 料金を300円に設定した根拠はあるのか。

(事務局) 他市町の金額の状況及び尾張三河地区の一般タクシーの初乗り料金が630円で設定されていることから、初乗り料金の半額の300円で設定している。また、5キロ圏域内で、既存の鉄道やバスの価格設定も参考にすると、300円が相場だと考えている。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(3) 循環バスの次期ルート再編に伴うダイヤ編成について

事務局による資料9の説明

(会 長) 別紙4の基幹区間ダイヤ表のルートの回り方(L・R)をアルファベットで表記しているのを左・右のように利用者がわかりやすい表現に修正したらどうか。

(事務局) ダイヤ作成時に修正させていただく。

(委 員) 加木屋中ノ池駅への新設バス停は考えていないのか。

(事務局) 令和6年3月に北口が一部開業するが、バス停の設置候補地としては、南口のロータリーを予定している。今後、駅の南口のロータリーの整備状況や養父森岡線の開通状況の時期を見据えながら、検討していくつもりである。

(委 員) 休日のアクアマリンプラザの乗入れは考えていないのか。

(事務局) 休日については、車を利用して、子供や親と一緒に行く利用者も想定されるため、今回のダイヤ改正では平日のみとしている。

(委 員) 車両は何台で運用していくのか。

(事務局) 基本的には7台+平日増強便1台の計8台分での運用を想定している。

(委 員) ダイヤ表を作成した際に、事前に運行事業者と調整しているのか。

(事務局) 事前に運行事業者とダイヤ表を共有した上で、調整している。

(委 員) 停留所の名称が多く変わっているのはなぜか。

(事務局) 店舗の廃業や入れ替わり、銀行の統廃合で名称が変わることが多いことから、バス停名について、基本的には地名に揃えるように変更したもの。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

5 閉会のことば